

## 放射線講座『大気圏内核実験から福島事故まで ～人体内放射能除去～』

- 講 師：渡利一夫（独立行政法人 放射線医学総合研究所 名誉研究員）
- 開催日時：平成 24 年 7 月 22 日（日） 14:00～16:20
- 開催場所：千葉市科学館 8F 科学実験室 B
- 参加者：15 名（対象：高校生以上）

### ◆教室の内容 ～放射線の発見と利用、その除去法について～

渡利氏の研究の履歴を織り交ぜながら、放射線に関して神経質でなかった学生時代の研究室の話からスタートして、以下のさまざまな話題をわかりやすく解説。盛りだくさんであったがはじめてみるデータや初めて聞く話もあり、おおいに役に立つ教室であった。配られたプリントも貴重なものである。参加者は全員が中年の市民、最後まで興味深く聴講。途中10分の休憩。アンケートの反応は、役に立った、大いに役に立った、という評価を参加者のほぼ全員がくれた。

#### <教室の主な話題>

- (1) 放射線発見の歴史（レントゲン、ベクレル、キュリー）  
ラジウムとラドン、ラドン温泉  
原水爆大気圏内実験、チェルノブイリ原発事故、東海村臨界事故
- (2) 放射線の種類、核分裂、半減期  
ヨウ素とセシウム  
U235の含有量の過去と現在  
自然放射能と人工放射能
- (3) 原水爆実験とチェルノブイリ事故による大気汚染のデータ  
福島事故の前後の魚の汚染データ
- (4) 震災以後の放医研の活動  
ヨウ素と甲状腺  
各種放射性元素の除去、セシウムの除去に向けたポリマーの開発  
自然放射能の測定の実際（温泉の元、カリウム肥料、ランタンの芯）



写真1：チェルノブイリ事故時の日本人観光客の靴下から検出された放射線



写真2：講師の渡利一夫先生